

研究開発委員会報告

2022年11月19日 研究開発委員会 委員長 武藤香織

1. 第34回大会若手発表奨励賞

- 実行委員会に事前審査の実施復活とライブ配信を依頼し、ご快諾を得た。
- 事前審査により対象8演題から4演題を選出し、9月5日に開催した研究開発委員会にて決定した。選出した4演題は、第34回大会の2日目に若手発表奨励賞セッションで報告される。座長は、高橋尚人委員と有江文栄委員が担当。
- 審査方法は、前大会を踏襲し、12月4日（日）（オンデマンド配信期間）までオンライン投票を理事・評議員・監事に依頼。
- 今回より、審査者が発表者へのフィードバック、助言、参考情報の提供ができるように投票フォームを変更し、若手会員を支援できる審査体制に変更した。

2. 2022年度若手論文奨励賞の選考

- 論文締切時40歳未満の会員が、筆頭執筆者として投稿した論文が審査対象
- 9月5日に開催した研究開発委員会において候補作3篇のうち1編の論文の著者を全員一致で選考し、9月20日に理事会に推薦して了承を得た。受賞者は以下の1名である。
 - 鈴木将平（共著者あり）『常染色体潜性遺伝（劣性遺伝）病における保因者検査の現状とELSI』

3. 第34回大会における若手論文奨励賞受賞者講演

- 実行委員会に対してライブ配信での受賞者講演を依頼し、第34回大会2日目の開催についてご快諾を得た。また、受賞者に講演を依頼したところ、快諾を得た。座長は、武藤が担当予定。

以上の活動につきまして多大なご支援を頂いた、編集委員会ならびに大会実行委員会に、心から御礼申し上げます。

以上